

きんの おの

はってん
発展 ③

きんの おの (イソツプのおはなし)

きこりが、川のそばで木をきっていました。
ところが、手がすべって、おのを川に落とす
しまいました。

こまって いると、川から かみさまが
あらわれました。

「おまえが おとしたのは、この きんの おのか。」

「いいえ、ちがいます。」

「では、この きんの おのか。」

「いいえ。わたしのは、ふるい てつのおのです。」

かみさまは、しょうじきな きこりに、三本の おのを
ぜんぶ くれました。

1 きこりは、なにを 川に おとしましたか。

2 川から あらわれたのは だれですか。

ア きこりの ともだち

イ かみさま

ウ さかな

3 きこりの おのは、なんの おのでしたか。

の おの

4 かみさまが 三本の おのを くれたのは、どうしてですか。

5 きこりは、どんな 人ですか。

ア うそをつく人

イ しょうじきな人

ウ なまけもの人